

小学校との連携・協働について

大阪府貝塚市

地域の状況

- ◆ 大阪府貝塚市 人口 90,659 人、世帯数 33,226 世帯
- ◆ 小学校 10 校（児童数 6,194 人）、中学校 5 校（生徒数 2,685 人）
- ◆ 児童委員数 138 人、主任児童委員数 10 人（小学校区に 1 名ずつ）

活動内容等

1. 児童委員・主任児童委員と小学校との交流会の経過

平成 15 年、貝塚市民生委員・児童委員協議会では小学校教職員との交流会を実施していくことを決定した。いじめ、不登校、虐待、子育て不安等課題を抱える児童やその家庭を支援する取り組みとして、学校との連携が必要不可欠であると考え、市教育委員会や校園長会へ働きかけ、各小学校区で条件の整ったところから始められた。

活動として、①児童健全育成活動、②子育て家庭への支援活動、③個別援助活動等を中心に取り組んでいる。各校区の実態がそれぞれ違うので、交流会を持たないまま他の形で交流を行う校区もあれば、年間数回に及ぶ校区もあった。

子どもが被害者となる事件が相次ぐ中、学校も地域も子どもを取りまく環境や危機管理への関心が急速に高まり、平成 16 年 12 月、小学校区に各 1 名の主任児童委員が誕生した。その後、交流会実施校区も全市に及び、その窓口は主任児童委員が務め、各校区とも全児童委員・主任児童委員が協力し合って、活動が展開されるようになった。

2. 交流会について（A校の場合）

- ・ 学校、児童委員ともに全員参加
- ・ 年回 3 回開催
- ・ 交流会前半は、全体状況を共有して、後半は地区別に 6 分科会に分け、具体的な状況や取り組みについて交流。最後に全体でまとめをする。
- ・ 個人情報保護については、特に留意して交流する。



3. 不登校児童・欠席の多い児童・遅刻の多い児童を対象とした取り組み（A校の場合）

学校心理士（家庭教育支援員）、主任児童委員、生活指導担当、各担任でチームを組織して家庭教育支援に取り組んでいる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも助言をいただくとともに、児童福祉担当課とも連携を図っている。

ネグレクト傾向等、家庭的な課題が大きい児童の場合は、学校と児童委員との連携を重